

令和 3 年度

人権に関する県民意識調査報告書（案）

令和 4 年(2022 年) 3 月

滋 賀 県

はじめに

滋賀県では、平成 13 年(2001 年)4月に「滋賀県人権尊重の社会づくり条例」を施行し、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現をめざして、人権意識の高揚を図るための教育・啓発をはじめとする様々な人権施策を推進しています。

近年、社会情勢が急速に変化する中で人々の価値観や生き方も多様化し、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題（部落差別）、外国人、患者、犯罪被害者等にかかる人権課題に加え、性の多様性（性的指向・性自認）に関わる問題やインターネット・SNS 上の誹謗中傷、ヘイトスピーチなど、人権課題もますます複雑化・多様化しています。

また、令和 2 年（2020 年）から国内においても感染が拡大した新型コロナウイルス感染症に関しても、感染者等への誹謗中傷などの様々な人権侵害の発生が大きな問題となっています。

このたび、県民の皆様の人権に関する考え方を把握し、人権教育・啓発をはじめとする今後の人権に関する施策を推進する上での基礎資料とするため、「人権に関する県民意識調査」を実施し、その結果を取りまとめました。

調査の内容は、これまでの調査と同様に、人権全般および人権の個別分野に関する幅広い内容としていますが、過去の調査結果と比較するための設問だけでなく、最近の課題や施策動向を踏まえたものとしています。

この調査結果が、人権が尊重される社会の実現に向けて、各方面でも御活用いただけることを願っています。

おわりに、調査に御協力いただきました県民の皆様や関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

令和 4 年(2022 年)3 月

滋賀県総合企画部

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の概要	1
2. 報告書を読む際の留意点	2
3. 回答者の属性について	4
II. 調査結果	エラー! ブックマークが定義されていません。
1. 人権についての考え方	エラー! ブックマークが定義されていません。
(1) 「人権が尊重される」ということについて	エラー! ブックマークが定義されていません。
(2) 滋賀県における人権尊重の状況	エラー! ブックマークが定義されていません。
(3) 人権に関わる法律や条例について	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 人権侵害を受けた経験および対応	エラー! ブックマークが定義されていません。
(1) 人権侵害を受けた経験	エラー! ブックマークが定義されていません。
(2) 人権侵害を受けた場面	エラー! ブックマークが定義されていません。
(3) 人権侵害を受けた内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
(4) 人権侵害を受けたときの対応	エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 人権侵害を見聞きした経験および対応	エラー! ブックマークが定義されていません。
(1) 人権侵害を見聞きした経験	エラー! ブックマークが定義されていません。
(2) 人権侵害を見聞きしたときの対応	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 人権の個別分野ごとの課題	エラー! ブックマークが定義されていません。
(1) 女性の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(2) 子どもの人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(3) 高齢者の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(4) 障害者の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(5) 外国人の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(6) ヘイトスピーチについて	エラー! ブックマークが定義されていません。
(7) エイズやハンセン病などの感染症患者とその家族等の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(8) 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(9) 医療の現場における患者の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(10) 犯罪被害者等の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(11) L G B T等の人権について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(12) インターネット上の人権侵害について	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 同和問題(部落差別)について	エラー! ブックマークが定義されていません。
(1) 同和問題を知ったきっかけ	エラー! ブックマークが定義されていません。
(2) インターネット上で部落差別に関する人権侵害事例を見た経験	エラー! ブックマークが定義されていません。
(3) インターネット上で見た部落差別に関する人権侵害事例の内容	エラー! ブックマークが定義されていません。
(4) 部落差別の現状	エラー! ブックマークが定義されていません。

- (5) 部落差別が残っている原因エラー! ブックマークが定義されていません。
- (6) 被差別部落の出身者への認識エラー! ブックマークが定義されていません。
- (7) 同和問題の解決方法についての考え方エラー! ブックマークが定義されていません。
- (8) 同和問題解決に向けての思い.....エラー! ブックマークが定義されていません。
- 6. 人権の尊重や侵害についての考え方エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (1) 古くからの言い伝えや考え方などについてエラー! ブックマークが定義されていません。
 - (2) 住宅を選ぶ際に忌避する条件.....エラー! ブックマークが定義されていません。
- 7. 人権啓発についてエラー! ブックマークが定義されていません。
 - (1) 啓発活動への接触状況エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (2) 講演会・研修会等への参加状況エラー! ブックマークが定義されていません。
- 8. 人権が尊重される社会の実現に向けての考え方エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (1) 人権が尊重される社会の実現に向けての考え方エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (2) 人権が尊重される社会の実現に向けての考え方の理由...エラー! ブックマークが定義されていませ
ん。
- 9. 自由記述.....エラー! ブックマークが定義されていません。
- 10. 質問間クロス分析.....エラー! ブックマークが定義されていません。
- III. 集計表.....エラー! ブックマークが定義されていません。
- IV. 調査票.....エラー! ブックマークが定義されていません。

I. 調査概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

県民の人権に関する考え方等を調査し、人権教育・啓発をはじめとする今後の人権施策を推進するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査期間

令和3年9月22日（水）～10月31日（日）

（当初は調査期間を令和3年10月12日（火）までとしていたが、調査開始後に10月31日（日）までに変更）

(3) 調査対象

調査地域	滋賀県全域
調査対象	県内に在住する18歳以上の男女（外国人住民を含む。）
標本数	3,000人
抽出方法	県内の18歳以上の住民基本台帳人口に基づき3,000人を全市町に配分し、市町別に無作為抽出
抽出台帳	選挙人名簿および住民基本台帳

(4) 調査方法

郵送法、オンライン調査法（回答者がどちらかを選択）

※郵送法は、自記式アンケート調査（無記名方式）、調査対象者全員にハガキによる再依頼2回。

なお、外国人対象者に対しては、やさしい日本語に配慮して作成した調査票と5か国語の翻訳調査票（ポルトガル語・タガログ語・中国語・ベトナム語・英語）を送付した。

※オンライン調査法は、調査票とともに配布したID・パスワードを用い、しがネット受付サービスにより回答。（個人は特定されない。）

(5) 調査項目(概要)

① 人権についての考え方

② 人権侵害を受けた経験および対応

③ 人権侵害を見聞きした経験および対応

④ 人権の個別分野ごとの課題

・女性 ・子ども ・高齢者 ・障害者 ・外国人 ・患者

・新型コロナウイルス感染症 ・犯罪被害者等 ・性の多様性（性的指向・性自認）

・インターネット上の人権侵害

⑤ 同和問題（部落差別）について

⑥ 人権の尊重や侵害についての考え方

⑦ 人権啓発について

⑧ 人権が尊重される社会の実現に向けての考え方

⑨ 自由記述

(6) 標本割当計画

住民基本台帳 人口(日本人)	住民基本台帳 人口(外国人)	合計	日本人 住民標本数	外国人 住民標本数	標本総数
1,151,146	28,900	1,180,046	2,927	73	3,000

注) 住民基本台帳人口は、令和2年1月1日現在

(7) 回収結果

割当 標本数	到着 標本数	未到達 標本数	有効回収 調査票数	無効 調査票数	有効回収率	割当標本数 に対する 回収率
3,000	2,949	51	1,560	2	52.9%	52.0%

2. 報告書を読む際の留意点

(1) 質問文・選択枝等

本文中の質問文および選択枝の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化している場合がある。

(2) 信頼区間

今回の調査は、標本調査であるので、標本による測定値（調査の結果）に基づいて、母集団値を推定できる。信頼度95%における測定値(%)の信頼区間1/2幅（標準誤差）は、次の式で算出される。

$$\text{標準誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団数（本調査では1,180,046）、n：標本数（同1,560）、P：測定値（%）

【 信頼度95%における主要な%の信頼区間の1/2幅 】

	n	P(%)									
		5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
全体	1,560	1.1	1.5	1.8	2.0	2.1	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5
男性	647	1.7	2.3	2.7	3.1	3.3	3.5	3.7	3.8	3.8	3.9
女性	851	1.5	2.0	2.4	2.7	2.9	3.1	3.2	3.3	3.3	3.4
18~29歳	160	3.4	4.6	5.5	6.2	6.7	7.1	7.4	7.6	7.7	7.7
30歳代	154	3.4	4.7	5.6	6.3	6.8	7.2	7.5	7.7	7.9	7.9
40歳代	261	2.6	3.6	4.3	4.8	5.3	5.6	5.8	5.9	6.0	6.1
50歳代	255	2.7	3.7	4.4	4.9	5.3	5.6	5.9	6.0	6.1	6.1
60歳代	275	2.6	3.5	4.2	4.7	5.1	5.4	5.6	5.8	5.9	5.9
70歳以上	431	2.1	2.8	3.4	3.8	4.1	4.3	4.5	4.6	4.7	4.7

【信頼度 95%における主要な%の信頼区間の 1/2 幅】

この表は、例えば、「問 2 今の滋賀県は「人権が尊重される社会」になっていると思いますか。」の結果を見ると、「1.そう思う」は、7.8%であり、“全体”の場合の最も近い値(10%)は「1.5」となっている。母集団を対象にこの調査を行えば、「1.そう思う」と回答する方が 7.8%の前後 1.5%の区間内、すなわち 6.3%～9.3%の区間内にあることが 95%の確率で期待されることを意味している。

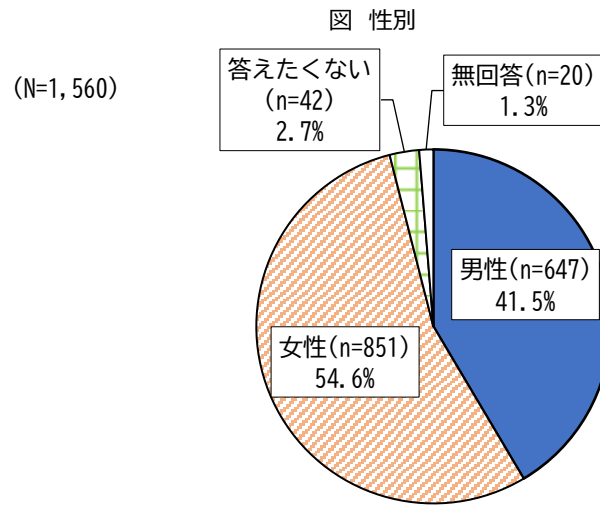
(3) 結果数値

- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、比率の合計が 100%にならないことがある。
- 複数回答が可能な質問では、その質問の回答者数を分母とし、それぞれの項目を選択した人の割合を算出した。そのため、各項目の比率を合計しても 100%とはならない。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものとしている。
- 図表中の「N (number of case) 」は、集計対象者数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表している。
- 問 4 (2) ～ (4)、問 5 (2) ～問 10 (1)、問 11～問 17、問 19 (2)、問 27 (2) の性別・年齢別のグラフについては、表示上の都合で原則 5.0%未満は表示していない。（必要な場合は集計表を参照）
- 報告書にて比較される前回（平成 28 年度）の標本数は 3,000（回収数：1,575）であった。また、前々回（平成 23 年度）の標本数は 3,000（回収数：1,618）で、湖西地域の抽出率を他の地域の 2 倍に設定して抽出を行い、集計時に他の地域を 2 倍して集計するという補正処理をしている。

3. 回答者の属性について

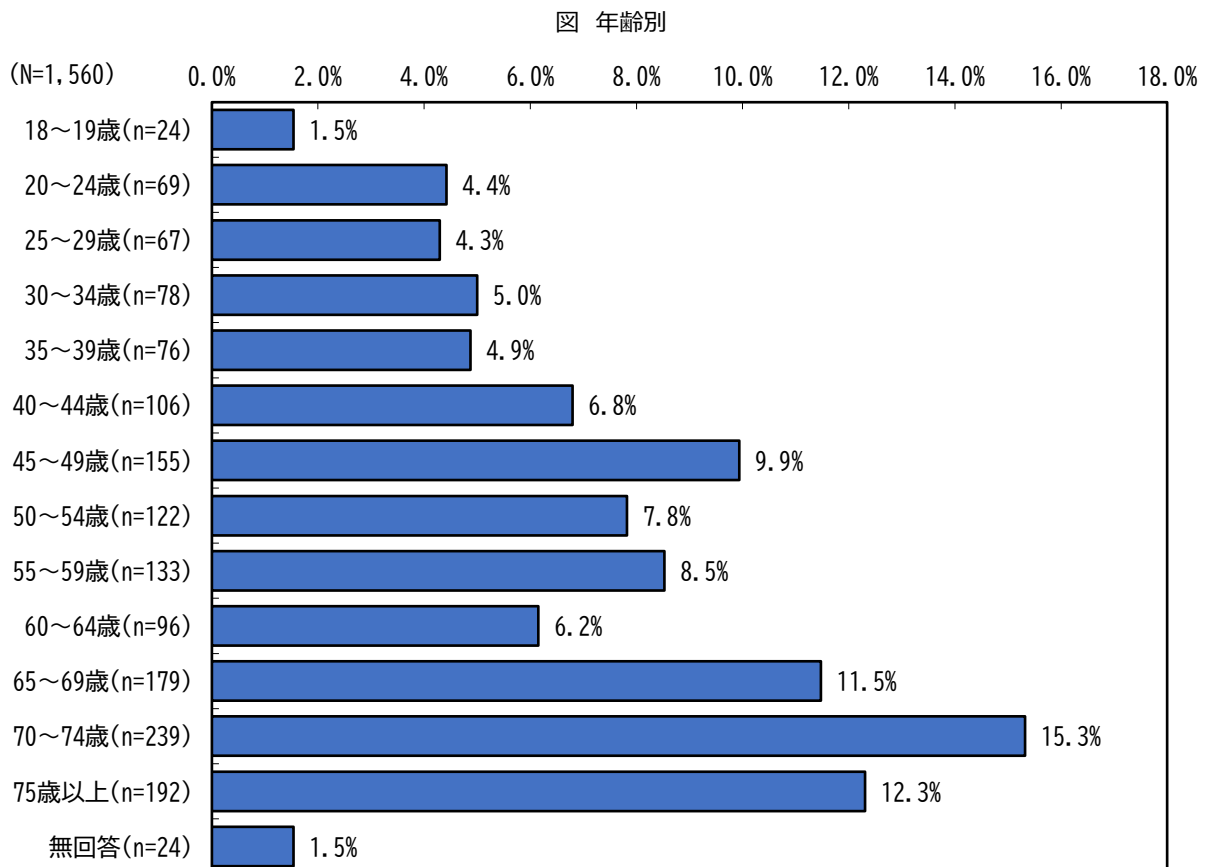
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が41.5%、「女性」が54.6%、「答えたくない」が2.7%となっている。



(2) 年齢別

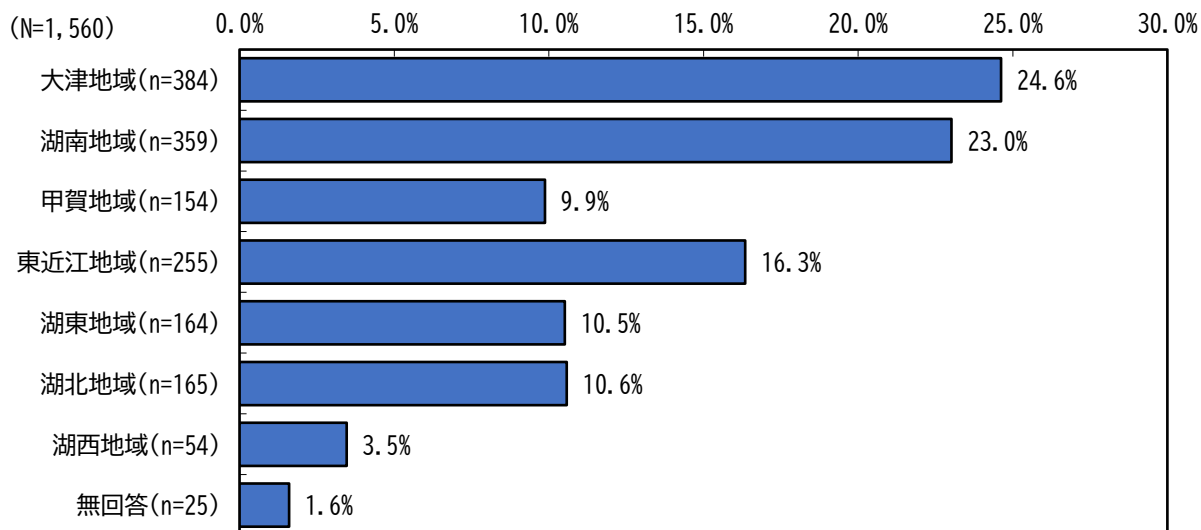
回答者の年齢階層は、「70～74歳」が15.3%で最も高く、次いで「75歳以上」が12.3%となっている。



(3) 居住地域別

回答者の居住地域は、「大津地域」が 24.6%で最も高く、以下「湖南地域」の 23.0%、「東近江地域」の 16.3%となっている。

図 居住地域別



(4) 職業別

回答者の職業別は、「家事または無職、その他」が 40.2%で最も高く、次いで「従業員 20 人以上の企業・団体などに勤めている」の 33.9%、「自営業を営んでいる、またはその手伝いをしている」の 7.1%となっている。

図 職業別

